



# 秘密やで



北野勇作

おっちゃん、こっちや、こっち。大人のくせして、なんでこんなジャングルジムが怖いねん。高い、言うほど、高こおないがな。幼稚園の子でも登ってるやん。さあさ、早よせんと夕焼け終わってしまうで。

さ、ここや。ここに立ってみ。立たれへんて、なんでやねん。手え離さんかったらええやんか。ほら中腰で。

えっ、そら立てるわ。当たり前やん。手え離したって平気や。なんやったらジャンプしたるか。いやいや、なんでそこでおっちゃんが目えつぶるんや。わかったわかった。もおせえへんから、目え開けえや。せっかく登ってきたのに、見られへんがな。ほら、あそこ。今日は夕焼けがきれいやから、よお見えるわ。

見える？ なっ、ほんまやったやろ。

ここから見えるハルカスがいちばんきれいや。みんな、そう言うてるわ。おっちゃんもそう思うやろ。

そやねん。折れてんねん。真ん中で、ばきっといってしもてんねん。夕焼けが、血いみたいやろ。突き出てる鉄骨が、骨みたいやろ。ぎざぎざのところが痛そうやろ。でも、きれいやろ。おっちゃんもそう思うやろ。うん、おっちゃんやったら、わかると思たわ。

そやねん。夕焼けのときに、このジャングルジムのてっぺんの、この角っこからだけ見えるねん。なんでかわからへん。他のところから見ても折れてへんねん。普通に立ってるわ。いずれはああなる、いうことなんやろか。わからへん。けど、めっちゃきれいやろ。

うん、みんな知ってるで。そこの幼稚園の子でも知ってるわ。知らんのは、ここに登ったことのない大人だけや。あ、言うとかけどこれ、大人には秘密やで。もう登ったらアカン、とか言い出しかねんやろ。

えっ。ああ、おっちゃんはええねん。おっちゃん、大人は大人でも、アカン大人やから。

(了)